



森のなかま

2011年 12月号

NO.44 (継続189)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102

平成23年度 成長の森見学会*開催!!

(財)かながわトラストみどり財団 みどり森林課

初山 希望

10月15日【やどりき水源林のつどい】、10月22日、第1回【成長の森見学会】と雨天中止が続いている今秋のイベント。今回の第2回【成長の森見学会】は、様々なところからの開催を願う祈りが通じたのか、11月3日<文化の日>無事に開催することが出来ました!

この【成長の森】は赤ちゃんの生まれた家族に呼びかけて参加者を募り、参加費を集めて苗木を購入・植栽し、【成長の森】として赤ちゃんの名前を記した銘板を設置する。と言うもので、子供の健やかな成長と苗木の成長とを重ね合わせるにより神奈川県での森林再生への理解と協力を継続的に得ようと、平成19年より始められた事業です。

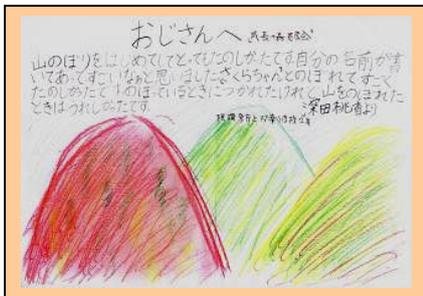
今年が成長の森初参加の私は当日受付係をしていました。普段のイベントと違い、小学生くらいの子やよちよち歩きの子、おぶわれている子など子供の参加者が多く、やどりきの森林に囲まれる前に私はすでに癒されました。

こども、めっちゃ可愛いです。

受付が終わって私がやどりき水源林の広場に着いた時は、前半組参加者が現地見学、後半組は広場で昼食を食べているところでした。今年のシカシチューはお代わりする方が続出しており、話を聞くと「珍しく」完食した、とのこと。今回はシカシチュー初体験の私も美味しくいただくことが出来ました。“民宿しおやさん”のお母さま方、ありがとうございました。

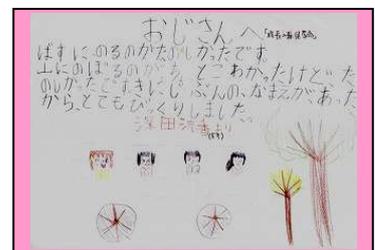
前半組参加者が広場に戻ってきてからは、後半組の現地見学です。私は現地へ行ってないのですが、参加者の方達は皆楽しそうな顔で戻って来られていました。参加者の方達に楽しいと思って頂けたのも、森林インストラクターの皆様のお陰だと思えます。朝早くから1日、大変ありがとうございました。

参加されたお子様からのお便りです。



相模原市立双葉小学校 2年 深田桃香ちゃん

山のぼりをはじめまして、とってもたのしかったです。自分の名前が書いてあってすごいなあと思いました。さくらちゃんとのぼれてすごかったのしかったです。のぼっているときにつかれましたけれど、山をのぼれたときうれしかったです。



深田涼香ちゃん (5才)

ばすにのるのがたのしかったです。山にのぼるのがちょっとこわかったけど、たのしかったです。きにじぶんのなまえがあったから、とてもびっくりしました。
深田涼香より

〈紙すき教室〉を行いました！

森林文化部会主催



山北町中川水源交流の里【ふれあい体験館】

2011年8月27日 8時～16時半

2010年に引き続き、山北町の「ふれあい体験館」において、紙すき教室を開催いたしました。今回はタカナシ乳業㈱からの参加、桜美林大学からの参加もあり、当初のミツマタを使用した紙すき体験に加え、牛乳パックを利用した紙すきを計画し準備を行いました。

8月28日は前日までの雨模様で天候が心配されましたが、当日は何とか雨も降られずに開催することが出来ました。

8時30分頃に参加者が集合し、井出部会長からの挨拶と教室の概要説明を行い、参加者全員で器具類の搬出と設置を行い、9時過ぎよりミツマタの煮沸を始めて紙すき体験の開始です。

紙すきを行う上での注意事項とポイントを作業毎に確認し、状況と材料の具合を確かめながら進めました。昨年の反省より、練の配合具合には特に注意しながら進め、段階的な練り状況も確認出来ました。今回新たに行った牛乳パックを使用した体験は、溜め漉きでの試行でしたが、ミツマタより手軽にハガキを作ることが出来、参加者も紅葉などの木の葉を入れた作品を作っていました。流し漉きは2回、3回と漉くにはなかなかの技術を要しますが、若い学生諸君は勘も良く、良い作品を作っていました。

年に1回では簡単には上手いきませんが、継続した取り組みで文化の継承をしていければと思います。体験教室を終了いたしました。

データ：参加者 タカナシ乳業（株）中原次長・河野様 桜美林大学ECO トップPG 3名
インストラクターの会会員 16名（内 運営委員 11名）



水源の森林づくり街頭キャンペーンについて

普及啓発部会 部長 森本正信



つくったよー！！

水源の森林づくり街頭キャンペーンは、都市部の県民に向け、水を育む森林の大切さや、県が進めている「水源の森林づくり事業」について、理解と協力を訴求していく啓発活動で、現在、下記の3イベントとのタイアップ企画を行っています。



横浜会場・・・横浜開港祭
秦野会場・・・秦野たばこ祭
川崎会場・・・かわさき市民祭り
(3日間の来場者規模は約50万人)

川崎市富士見公園内で、ストーリー性を持たせたフルライン（注1）での展開が出来ました。加えて、緑の募金活動（注2）も定着してきています。今後とも、かながわトラスティみどり財団と協働し、普及啓発活動に注力していきます。

（注1）受付 → 紙芝居（クイズに答えて景品を）→ 丸太切り（間伐バーチャル体験で自前のコースターを製作）→ どんぐり工作（お土産）→ 緑の募金協力で完結。

（注2）本会が、国土緑化推進機構より、全国で5番目の「緑の募金協力団体」の委嘱を受けており、東日本震災地域の森林整備・緑化等も支援しています。

私の認識

野鳥その94

高橋 恒通

フクロウ科の野鳥は“夜の猛禽類”と異名を貰っており、我国では10種類が見聞きできると言われています。

これまでに、フクロウ、シロフクロウ、コミミズク、そしてトラフズクの4種をご紹介して参りましたが、ここでフクロウ科の野鳥に共通する特徴点を以下に整理してみます。
①基本的な行動は夜行性。②猛禽だから嘴は鉤状、鋭い指の爪、③顔盤と称される平坦な顔面ゆえに目の位置も平坦、④通常野鳥の指は前指3本、後指1本の4本ですが、フクロウ科は前指2本、後指2本の4本、因みにキツツキの仲間も同じ。⑤羽音を立てずに飛ぶ事ができる⑥羽角と称される耳の如き羽毛

(耳羽とも言う)のあるものと無いものが多い。⑦体色に個体差(個体異変)のあるものが多い。⑧虹彩はフクロウのみ黒褐色で、それ以外は黄色か橙色のどちらかである。⑨猛禽類共通でフクロウ科の野鳥も体長は♀の方が少し大きい。この事は図鑑にも殆ど載っていないので、日本野鳥の会自然保護室に問い合わせ教えて貰ったものです。但し♂♀ペアで並んでいる場面でないとは判りづらい様です。因みにシマフクロウ(後稿でご案内致しますが)が繁殖期に♂♀が鳴き交わす(これをデートソングと言うそうです)時に♀は濁った嗄れ声を出すので判るとの事です。

さて、フクロウ科の五番手は稀な冬鳥と言われるワシミミズク(漢和名:鷲木菟、英名: Eagle Owl, 体長L=約67cm)です。

ワシミミズクは我国で見られるフクロウ科の中で2番目にサイズの大きい野鳥ですが、載せてない図鑑が多くあるぐらいに稀な鳥です。私自身は残念乍ら実物を観ていませんし、剥製すら見ていません。従って参考書の記載内容から転用させて頂いて貰います。

体色は上背面大部分が褐色地に黒色の縦斑と細かい同色の横斑が複雑な斑紋になっています。体下面は褐色地に黒褐色の長い縦斑が縞状に見えます。

大きな特徴は褐色の大きな羽角

(耳羽)と橙色の虹彩にあります。

啼き声は野太く低く良く透る声でブッホーッと発声するので、学名は、“B ubo B ubo”です。



ワシミミズク

我国では北海道北部で少数の記録があるそうです。昼間は林の茂みに居て夜間に小形の哺乳類や鳥類を捕食するそうです。

稀な冬鳥のワシミミズクは、我国に於いては北海道の鳥好きでも滅多に逢えないと言われる野鳥ですが、世界地図上の棲息分布を図鑑で見ればびっくりです。何故ならばツンドラ、所謂凍土地帯を除く全ユーラシア大陸に及んでいるではありませんか・・・西はイベリア半島、北西部はスカンジナビア半島、そして南西部は北アフリカ全域なのです。これほどまでに拡大な分布領域を占めながら、極東の日本には北海道の北部へ稀に越冬でやって来るだけと言う事実の真の理由は一体何だろうか?と、誠に素朴な疑問が私に残っています。

際限無く進行を続ける地球温暖化と言う悪い傾向が、我国で滅多に見られないワシミミズクの生活行動に如何なる影響を与えるのだろうかと思像してみてください。

野生の生き物が個体数を増やす3大条件は、

①餌が潤沢で、②営巣環境が揃い、③天敵が居ないか、少ない事、だと私は認識しています。

若しこれから何年か先に、関東地方でワシミミズクが容易に観られる様になったら、私には素直に喜べるものは何もありません。

ご愛読の皆様はいかがお考えでしょうか。

<参考資料>

- ◎ フィールドガイド 日本の野鳥、野鳥ブックス② 高野伸二著 (財)日本野鳥の会
- ◎ 鳥630図鑑 財団法人 日本鳥類保護連盟
- ◎ グランド現代百科事典20 (株)学習研究社
- ◎ イラスト ワシミミズク 大塚晴子(広報部)

成長の森見学会*参加者からのお便り

相模原市 深田尚美 様

こんにちは。先日は「成長の森」を案内して頂き、ありがとうございました。

桃香と涼香の名前が入った看板と苗木を見つけた時はすごく感動しました。

山に登ることが、こんなに気持ち良く面白いことだと知りませんでした。(・・・少しの距離ですが・・・)そして、少し怖かったです。

桃香はさくらちゃんと仲良く登れたことが、すごく嬉しかった様です。涼香も自分一人で山に登れたことを自慢気に話していました。とても貴重な体験をさせてもらい、これからの苗木の成長も楽しみの一つとなりました。本当にありがとうございました。

また、皆さんで行けたらいいですね。♪♪

(表紙、掲載の桃香ちゃん、涼香ちゃんのお母様です)

活動短信

7/22~10/28

平成23年度 教員研修(講話・森林観察・木工)

日 7月22日(金) 9時~12時 曇り時々晴れ
場 県立愛川ふれあいの村
参 62名
財 豊丸
イ L井出①、落合③、高橋③、伊藤⑦、松山⑩、谷川⑩、

*朝の挨拶、インストラクターの紹介に続き、受講者全員にリーダーの井出さんがパワーポイントで森林講話を行った。その後に自然観察と木工クラフトに分け、各々約60分程度で入れ替えをし、午前中に全てのスケジュールを終了した。
 *木工は井出、落合が怪我をしないナイフの使い方方を指導して「書けないエンピツ」を作らせ、自然観察は高橋、伊藤、松山、谷川が班分けをして自然観察コースを案内し森林の働き、動植物の観察を五感を使って行う指導をした。
 *受講者の中でヤマビルの厄介になった人が少し出たが、それ以外は怪我など無く無事に終了できた。

<所見>*スケジュール的には時間配分が難しかった。

*私の班の受講者はニイニイゼミの声を聞いても、ゼミの名前を知ってる者が一人も居なかったのにはガッカリした。(記3期 高橋)

高取山登山と自然観察

日 9月26日(月) 小雨
場 愛川ふれあいの村から高取山へ
参 横浜市立三保小学校 4年生 184名
 教師 14名
イ L堀江④、島岡③、高橋③、足立④、佐藤⑤、武者⑦、渡部⑦、久保⑧、野田⑧、三浦⑧、松村俊⑧、飯澤⑨、内野⑨、小沢⑨、海野⑩、

連休明けの道路渋滞のため、バスの愛川到着が1時間ほど遅れ、開催式、出発と全体的に1時間弱の遅延のなかを子供達の元気な声を聞きながら出発。途中で森の話や人工林の話、水源林の話などをしながら数回の休み時間を入れながら高度を上げて行くうち山頂直下から小雨が降り出し、先生と相談の上で登山を続行、先発班から山頂で小休止を取り下山開始、山頂直下の桧林の中で昼食を食べ、30分程度の休憩後、先発班から下山、雨もたいしたことなく皆元気良く歩き通し愛川ふれあいの村に到着。ふれあいの村の中で植物観察をしながら、集合場所の体育館に集合、登山の解散式を実施して終了した。

*今回の登山で下山途中の女子生徒が転倒すると言うトラブルが発生、雨の中の登山道が滑りやすくなっていたのも原因のひとつではないかと

反省もし、今後の山登りの際にインストラクター全員でカバーできる様なシステム作りの検討が必要だと痛感した。雨の登山中止なども事前に学校と打ち合わせをしておきたい。

子供さんは不幸中の幸いで打撲程度の怪我で済んだもののひとつ間違えれば大きな怪我をする状況が潜んでいることを我々は肝に命じる必要を感じている。

*今回もヤマビルに子供3名、大人1名とまだまだ被害があることも来年度の対策として検討しておきたい。

インストラクターの皆さん、ご苦労様でした。

(記4期 堀江)

パートナー林保全活動

<間伐、クラフト、自然観察>

日 10月1日(土)
場 やどりき水源林(日揮(株)エリア)
参 川名社長以下、日揮(株)社員45名
県 自環保 水源の森林推進課 内田
イ L高橋⑨、鈴木③、久保⑧、中島⑨、宮下⑩
 日揮(株)の間伐、クラフトワーク、自然観察を行いました。日揮(株)は今までも多くのイベントをやどりきで行っていましたが、日揮(株)のエリアを使った間伐は初めてとの事で、川名社長の枝打ちを起工式として本日のイベントが始まりました。

各イベントの参加状況は間伐班25名、クラフト9名、自然観察11名となり、セレモニー後に各インストラクターの誘導で目的地に分散した。

今回の参加者にはフィリピン、インドネシア、インドからの外国人が14人参加しており、国際色の豊かなイベントとなりました。

間伐は約半数の参加でしたが、約半数の外国人を含め、ほとんどの方が初心者とのことであり、安全な作業方法と少しでも体験してもらう事を意識し作業を進めました。急傾斜での作業であり、掛かり木にもなりましたが、皆が協力して倒した時は歓声も上がりました。時間の関係で玉切りまで出来なく、残念そうな方もおりましたが、又の参加でやりたいとの声もあがり、今回は良い経験に成ったのではないかと思います。

(記9期 高橋)

水源林を手入れするボランティア活動について

日 10月6日(木) 10時45分~11時半 晴れ
場 横浜市立三保小学校
参 4年生 184名 担任教師
イ 高橋③

9月26日(月)にインストラクター15名で、三保小4年生184名を高取山登山に案内した折、たまたま彼等は社会科の授業で“水源林”について学んでいた。そして私の顔写真と水源林保全の大切さのコメントの載った教科書(教育出版社)を使っており、それに加えて、私達インスト仲間の

堀江さんから学校への働きかけもあり急遽、今回のレクチャーが実現した。

レクチャーは4年生全員と担任の先生が集まった体育館で、街頭キャンペーンで使っている「森林と水について」の紙芝居をプロジェクターでスクリーンに映して解説し、水源林に関するDVDを観てもらい、そして水の大切さや水源林の手入れの必要性などの説明、質疑応答を行った。
(記 3期 高橋)

県民参加の森林づくり(広葉樹 植樹)

日 10月7日(金) 8時~14時半
場 箱根町 仙石原
参 一般県民 41名
町 箱根町4名、小田原市森林組合 1名
財 内海課長 **看** 青木
イ L宮向井⑨、善波⑥、久保寺⑦、武者⑦、黒澤⑧、女川⑨、水津⑨、福島⑨、上田⑩、杉崎⑩、橋本⑩、**研** 柴⑪

10/5実施が雨天のため、本日実施となった。参加者が申し込みの半数となったため、800本の苗木の植樹に、インストラクターも作業に加わった。素晴らしい秋晴れと前日の雨で表土が柔らかくなり、5班に分かれての作業は思いのほか順調に進み、予定時間を40分短縮して終了。ヒヤリハット事故もなく、参加者からも「思ったより楽しかった」「楽しかった」との感想。箱根町の関係者からも、恵みの雨のおかげで、苗も順調に育つでしょう!
(記 9期 宮向井)

平成23年度 川崎市里山ボランティア育成講座 第3回

日 10月8日(土) 9時半~14時半
場 川崎市 神庭特別緑地保全地区
参 一般市民による講座メンバー17名
スタッフ 川崎市公園緑地協会他9名
イ L金森⑩、安部⑤、清水⑧、小林⑩、

全6回講座の第3回目。活動現地はわかりにくいにもかかわらず詳しく告知していたので参加者は概ね時間通りに集合できた。秋らしい涼しい気候の中、午前・午後共に竹林整備の実習を行った。安部インストラクターより竹林管理について講義を受ける。内容は竹の種類や特性など幅広い範囲に及んだ。続いて作業手順や安全面について篠崎緑レンジャーから説明を受ける。作業手順は活動団体によっても異なり、絶対にこうしなければならないというものはないが、初心者に分かりやすく、安全と思われるやり方を紹介した。地元団体「神庭・里山を楽しむ会」の戸枝代表から活動内容や苦勞している点を紹介してもらう。芋ほり大会等のイベントを組み合わせる工夫により若いファミリー層の参加が多く活気があるとのこと。3班に分かれて竹林整備を開始する。作業手順をインストラクターの指導のもと確認して綺麗になった。

次回、第4回目は11月26日(土)高津市民館(溝口駅前)にて開催される。「花と緑の交流会」の機会を利用して、イベントスタッフ体験、交流会への参加を予定する。(記 10期 金森)

森林づくり活動<小学生の間伐作業体験> =事前学習=

日 10月4日(火) 10時~12時半 晴れ
場 横浜市立緑小学校
参 5年生 160名
財 古館
イ L武者⑦、高橋③、

9/30に、今日の為の下打合せを武者さんと私、そして財団の古館さんと訪校し、魚住先生等と行い、それに基づいて下記の通りの2コマの事前学習を行った。

私は“森林の働きに感謝しよう”と言うレジメの説明をし、武者さんは“林業”についてその内容を説明し、10月9日の“間伐作業”に関する解説を、用意した道具類を用いて行い、併せて水源林の手入れに関するDVDを観せた。子供達には道具に触れさせて、林業の作業のひとつ“間伐”についてのイメージを、事前に膨らませる役割は果たせたと思う。
(記 3期 高橋)

日 10月9日(日) 10時~14時半 晴れ
場 相模原市緑区長竹 承継分収林
参 横浜市立緑小学校 5年生 160名 教師他 13名

財 古館
イ L高橋③、島岡③、佐藤⑤、滝澤⑤、鈴木⑥、伊藤⑦、小野⑦、武者⑦、浦野⑧、飯澤⑨、小沢⑨、高橋⑨、村井⑨、海野⑩、金森⑩、松山⑩、

10月4日(上記)の緑小学校での事前学習を経て、下記の間伐体験指導を行った。

1班10人で各班2本の桧(約17年生)を伐倒する予定でスタンバイしていたのだが、子供達の到着が約40分余り遅れた為、挨拶やインストラクター紹介もそこそこに16班が作業現場に入り各班毎安全で確実な間伐の仕方の指導を受け間伐作業を行った。各班桧1本を伐倒し、枝払い、玉切り、片付けを行いその場所で班毎にインストラクターと一緒に昼食を摂り、併せて文化祭で発表する新聞の記事集めの為、インストラクターへの質問などを行った。子供達に怪我や道具紛失、ヒヤリハットも無く終える事が出来た。(記 3期 高橋)

水源林保全体験(下草刈り)

日 10月15日(土) 8時40分~14時40分
場 宮ヶ瀬ダム湖畔園地
主催 神奈川県企業庁サービス協会(水道記念館)
参 一般参加者 16名(募集40名)
スタッフ 協会 内田他2名 **看** 青木
イ L佐藤⑤、高橋③、渡辺③、金森⑩、

県企業庁サービス協会が県営水道利用者から募集した参加者による水源林保全活動で、下草刈りと宮ヶ瀬ダム/水とエネルギー館の見学が

行われた。

本厚木駅をバスで出発、宮ヶ瀬湖畔到着まで降っていた雨も止み、雨具を着用して作業開始したが天候の回復と共に雨具姿は消えていった。作業時間は約1時間、7家族で3、4年生以下の子が全体のほぼ半数いて作業の進み具合より、「怪我をしない・させない」ことに重点をおき鎌の使い方、お隣同士近付き過ぎないようにスタッフの協力を得ながら全員でよい汗をかいた。カヤの株が大きく子供には手強いところもあったが、作業は予想以上にはかどり終了時にその成果をみんなで確認した。園内で昼食をすませ、12時15分にはバスでダムサイトの水とエネルギー館に向けて出発、およそ1時間半、自由見学やダム周辺の散策を楽しみ帰路に着いた。(記 5期 佐藤)

五感を使って自然観察

日 10月17日(月) 10時～13時50分 晴れ
場 県立21世紀の森 天然の森～林道コース
参 横浜市立能見台南小学校5年生 127名
 教師他 12名

イ L村井⑨、島岡③、渡辺③、高崎④、出口④、杉戸⑥、伊藤⑦、武者⑦、三浦⑧、内野⑨、小沢⑨、杉崎⑩、

五感を使って自然観察が学校の要望

事前にムクロジの皮と水をペットボトルに入れて、泡立たせシャボン玉を飛ばした班や落枝に菌根菌が入り不思議な模様になった枝を利用して箸置き作り方を子供達に教えた班、種子の散布を五感観察と並行して観察した班、「これ面白い葉っぱだね」どくだみと知るや「ソウケンビチャダー」ルーペで覗いたミクロの世界に感激！カラムシ鉄砲、オニグルミの観察でリスの食痕を見つけたりアオキの葉っぱに手紙を書いたり、自然の中で遊びながらの勉強に子供達の笑顔が全開でした。

ただ、残念だった事は4期の出口さんが聴診器で樹木のささやきを子供達に聴かせてあげようと企画しましたが、昼休みが短く食事に追われて一部の子供達しか体験出来ませんでした。後日、担当の先生からは「良い時間を過ごすことが出来ました」との感想を頂いたと古舘さんからメールを頂きました。ヒヤリハットもなく、各インストラクターが得意技を披露され子供達にとって思い出深い一日になったと思います。(記 9期 村井)

下草刈り体験

日 10月22日(土) 10時～13時 雨のち曇り
場 県立21世紀の森 樹木園
参 生長の家神奈川県教化部 21名(内子供1名)
スタッフ AGS 太田

イ L小沢⑨、村井⑨、

開成駅からマイクロバスで10時20分着。かなりの土砂降り、本日の行動予定を打ち合わせ、カマ等の刃物や滑りやすい事もあり、自然観察や丸太切りをお勧めしましたが、予定通り下草刈りを希望され、11時15分より樹木園にてスタート

初めての方もおり、カマの使い方や注意事項を話し雨の中12時半に終了。苗木の中の草刈りでなく、成長した樹木の下の草刈りで作業は全員無事に終える事が出来ました。(記 9期 小沢)

パートナー水源林保全活動

日 10月25日(火) 10時～12時 晴れ
場 南足柄塚原(株)カナエルの森
参 (株)カナエル社員 18名
イ 浦野⑧、

平成14年植栽のヒノキの枝打(すそ払い)作業だが、その前に植栽地へ入る林道沿いの草刈作業を行う。10年生のヒノキの林は根元から枝が密生して作業前は踏み込むのも大変な状態が、背丈までの枝打で見通しの良い明るい林となった。津久井地区に「カナエルの森」を持つ同社若手社員中心による活動は活気にあふれ予想以上の作業進捗となった。事前に全員初めての森林整備作業とお聞きしていたので、作業前に「森林の大切さ」「森林づくりの手順」「枝打の意義」を、用意した資料で説明、作業はみどり財団からの事前の要請に沿って、①すそ払いの高さを2m弱まで(ただし枯れた枝があれば手が届く範囲で落とす)、②伐り残しなく、また中途半端な長さで残さない、③枝隆を伐らない、④転々と残らないようにするなどを徹底して実施していただいた。

(記 8期 浦野)

森林探訪「鎌倉アルプスと鶴岡八幡宮」

日 10月25日(火) 晴れ
場 横浜自然観察の森から鶴岡八幡宮
参 一般神奈川県民 36名
イ L野田⑧、高崎④、森本⑤、内野⑨、小林⑩、鳥飼⑩、
看 青木

電車、バスを乗り継ぎ横浜自然観察の森に集合した参加者は、バス停から広場までの急坂を息を弾ませ登る。オリエンテーションのあと、班ごとに軽くストレッチを行い、寒く乾燥する冬を迎えるために準備を始めている植物の姿を観察するために出発。

きれいな紅葉を楽しむ森林探訪を計画したつもりでしたが、15号台風の強風で樹木は哀れにもあちこちで折れたり根こそぎ倒れていたり、潮害で葉が茶色くなっていたり、枯れ落ちていたり、今年は紅葉を楽しめそうもありません。しかし、季節を忘れない植物たちは春に向けての準備を着々と進めている姿を観察することができました。曇りの天気予報がはずれ朝から素晴らしい秋晴れのすがすがしい天気の中で森林探訪が行なえ、最後には鶴岡八幡宮の神殿で御参りをしお払いを受け、宮司さんの石の文化圏と木の文化圏での物事の考え方に大きな違いができていたとの講話で締めくくりました。

今回の森林探訪は日揮社会福祉財団の助成金で、

新年度が始まってから計画が立てられ実行された飛び入りの活動でした。(記 8期 野田)

林業体験(枝打ち)

日 10月25日(火) 10時~13時半 晴れ

場 小田原市久野

参 横浜市立西富岡小学校5年生64名
教師他10名

財 永島

イ L国分③、出口④、杉戸⑥、村井⑨、海野⑩、杉崎⑩、

学校行事の2日間の自然体験のうちの2日目に当たる行事は「枝打ち体験」を行うことでした。0、1haの広さに、「ヒノキ」の10年生350本の枝打ちをしました。

10時になると、子供たちが挨拶の声とともに元気な顔をのぞかせ「はじめの会」が始まり、枝打ち作業は6班編成で取り掛かった、最初のうちは慎重にとりついていましたが、すぐになれたようで、予定の作業が半分の時間ですんだため「間伐」の作業を急いで追加しました、そして間伐材を玉切りにする体験もしてもらいました。

この作業は香りとともに年輪もはっきりしてとても好評で、ほっとしたところです。

最初、貧弱に見えたヒノキ林も作業が終わった時は青空がはっきりと見えるようになり生まれ変わったようでした。

最後に「感謝の会」があり、礼儀正しい学校がわの指導がいきわたっていたのがとても印象的でした。(記 3期 国分)

やどりき水源林を探ろう(自然観察)

日 10月27日(木) 10時~13時半 晴れ

場 やどりき水源林

参 川崎市立宮崎小学校5年生171名
教師他9名

財 古館

イ L小沢⑨、井出①、友谷①、渡辺③、宮本④、高崎④、佐藤⑤、斉藤⑥、小野⑦、山崎⑦、久保⑧、内野⑨、村井⑨、海野⑩、酒井⑩、杉崎⑩、

本日の観察会は、やどりき水源林を3コースに分ける。

① 林道コース 5班 車椅子の方1名

② Bコース 6班

③ 成長の森コース 6班(H22、23年度)

10時 快晴のなか予定通り集会棟の前広場に於いて全体会をスタート。全体会(挨拶、紹介、集合写真撮影)順次三々五々自然観察へ。(学校より生徒人数分の飴を預かり出発)自然観察の一部としての森林の役割や仕組み、水と森林のつながり、水生生物のお話等をテーマとした各コース、各班で昼食をインストラクターと共に話をしながらとる。生徒達は山の話などをメモをしながら聞き目的のコースを予定通り終了。

13時 集会棟前広場へ集合

13時15分~13時半 おわりの会(児童の自然観察の感想、おわりの言葉)

<申し送り事項>

自然観察会の最後の15分で予期せぬ出来事が起きてしまいました。川原で大勢の子供達が石投げ遊びを始め、飛んで来た石で児童の1人が頭部を三針縫う怪我をしてしまいました。(川原にいたインストも止めに入りましたが・・・)今一度初心に戻って、皆で議論する機会を与えられたと思います。(報告済み) (記 9期 小沢)

ふじの体験の森“やませみ”間伐体験

日 10月28日(金) 8時45分~13時半

場 ふじの体験の森やませみ/大日野原

参 相模原市立津久井中央小学校5年生43名
教師ほか4名

スタッフ やませみ職員 大平他5名

財 古館

イ L佐藤⑤、鈴木⑥、塩谷⑦、浦野⑧、松山⑩、“やませみ”で人気の高い間伐体験活動、今回は4班編成でコースター作りを含めて1時間45分の時間があり、しっかりと作業に取り組めた。

生徒達は前日宿泊しており、眠そうな子も若干見られたが、ヘルメットと枝打鋸を身に付け間伐場所まで約15分歩くうちに目が覚めたようだ。現地でリーダーから間伐についての説明のあと、作業にかかった。時間的ゆとりから子どもが主役になるようにインストラクターも段取りを工夫し、子ども達も鋸がうまく使えるようになったり、樹高が高く皆でロープを引いて倒したときの地響きに達成感を感じたものと思われる。コースターの香りを喜ぶ顔が印象的であった。作業後、昼食を済ませてからインストラクターとのミーティングが設けられ、話が尽きないほど盛り上がっていた。13時半、無事に間伐体験活動を終了した。ここ「やませみ」では時間的にも人員配置の上でもしっかり配置され、インストラクターへの期待も大きいものと感じられ。(記 5期 佐藤)

広報部からのお願い

毎回お願いしています、活動短信について短信分は400字でまとめてください。

①活動名 ②日付 ③活動時間 ④天候

⑤活動場所 ⑥参加者(会社名・学校名

県民、他) ⑦参加人数 ⑧行政担当名(県、

財他) ⑨現地スタッフ(足柄グリーンサービス

他) ⑩イ (リーダーを頭にメンバーに期を入れて)

⑪看を忘れずに

*学校の場合は学年を忘れずにお願いします。

やどりき水源林 ミニガイド

イベント情報 & ご案内

編集後記

★韓国余談～話に聞いていたが.....

1、先月末、韓国ソウルを四日間一人散歩、素晴らしい秋の紅葉の下、運よく快晴。帰国時。地下鉄駅乗り換え時、エスカレーター無で、階段を車付きのケースをごとごとと上る、格好いいスーツのお兄さん、さつと来て、ハングル語で何かを言いながら、上まで、35m、あつと間に引き上げ、英語で礼を伝える、英語で、年配者にこんな事をさせるのはいけないと。

2、地下鉄乗車、運悪く一人のみ立った。電車の一番向こうの端から、若い女性が来てハングル語でこちらに座って下さいと、荷物を持ってくれた。英語で礼を伝える。英語で、当たり前ですと！そうそう、ソウルの乗り物、日本のように優先席の座席は作ってなかった。

3、空港で、搭乗受付中、忘れ物がありませんかと聞かれ、ありますと答えた。汚れた小さなケース。往きの大韓航空に置き忘れA空港着、また買えば、あつさり締めていた。帰りの異なった空港でこの捨ててもよいほどの小さな汚れたケースが届けられていた。びっくり！！以上、韓国で受けた思い出に残る親切。

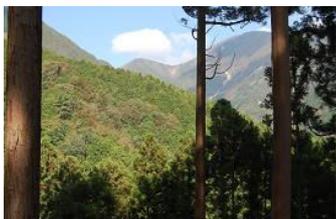
昔、日本にも有って、今では忘れ去られてしまったこの公德心。年甲斐もなくカルチャーショックをずしんと受けた。いかがですか皆さん。

(鈴木松)
★12期生が32人入会しました。平均年齢53歳とのこと。活動出番は豊富です。どんな活動なんだろう？って、本誌・別冊を見て研究して下さい。(村井)

◇年間購読のお申し込み
「森の仲間」年間購読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込みください。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛まで購読料年2000円をお振込みください。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記してください。
振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。
(頒 価 200円 送料共)

編集人：村井正孝
事務局：竹島 明
広報部：小沢章男 井出恒夫 (HP)
水口俊則 森 義徳 真貝 勝
鈴木 朗 鈴木松弘 大塚晴子

11月のトピックス



成長の森H23からの展望



雪景色に感動。

「森の案内人」情報

●実施時間：毎週土曜・日曜・午前10時・午後1時1～2時間程度(12月1月2月休止)

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ・手入れなどについて説明いたします。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ：(社) かながわトラストみどり財団 TEL:045-412-2255

fax:045-412-2300

●ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>

●E-mail:midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

21の森のイベントです

木工体験教室

クリスマスオーナメント作り

12/3(土)～11日(日)

受付:9時～15時30分 小学生以上先着32人(当日受付)

参加費:100円糸鋸細工のクリスマスオーナメントを作りリースやツリーに飾ろう!

県立21世紀の森管理事務所

電話:0465-72-0404

◇森のなかま原稿募集◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集しています。<広報全般についてのお問い合わせ>

小沢章男まで

Mail:a.ozawa@tbz.t-com.ne.jp

Tel:0467-52-2191

<電子配信担当> 森 義徳

〒232-0053

横浜市南区井土ヶ谷下町16-3-202

Tel/090-5433-7784

Mail:shinrin.inst.denshihaishin@gmail.com

送り先

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】村井正孝

〒226-0002

横浜市緑区東本郷6-22-1-420

Tel/Fax:045-476-4112

Mail:murapu60dai@yahoo.co.jp

【別冊】水口俊則

〒250-0871

小田原市下堀123

Tel/Fax:0465-42-7240

Mail:minagold109@plum.plala.or.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町3-7

Tel/Fax:046-825-9281

Mail:nahemi0818@jcom.home.ne.jp

原稿は随時受け付けてます。



メリークリスマス&忘年会

森林保全のお帰りに

お気軽にお立ち寄りください

山麓の オアシス
こまち

小田急線・新松田駅そば

